

乗り越えて

森野 水琴

学校帰りの電車から降り、男は上りのエスカレータに乗った。

下りのエスカレータに乗っている人を眺めていると、見知った女性がいる。以前同じ部署で働いたことのある女性である。

久しぶりに見かけたものだとはエスカレータを乗り越えて下りに飛んでいく。

エスカレータを逆走するわけにもいかず、階段を歩いていれば良かったと悔やんでも手遅れである。

このまますれ違ってしまふのかと焦っていたが、女性も気が付いたようだ。マスク越しだが分かった。

声をかける暇もなく、刻々とすれ違いの瞬間が近づく。何が出来るだろうか。

ついに その瞬間

これしかない

万感の会釈。